

精密機械
工学医工
連携

企業

博士課程

大学研究員(海外)

大学研究員

バランスのとれた生活をめざして

原田香奈子(東京大学グローバルCOEプログラム「機械システム・イノベーション国際拠点」 特任助教)

仕事の内容とやりがい

手術ロボットに代表される手術支援システムの研究を行っています。工学と医学—本当に同じ言葉を使っているのかと思ってしまうほど異なる分野の橋渡しをすることがこの研究分野の一番の醍醐味です。医師の言葉を理解し、その意図を汲み取って、工学系で使う定量的な表現にする。学際的研究の一番おもしろいところです。一方で、臨床応用を目指した実用性の追求と、工学的学問としてのおもしろさは、必ずしも一致しません。この点を常に意識しながら、研究を進めています。

仕事と生活のバランス

数年前までは仕事が生活のすべてでした。毎晩、夜中まで職場にいて、生活もかなり不規則だったのです。転職となったのは3年間の海外生活。今では、早く帰ってジムに行くことも多く、食事もほとんどが自炊になりました。視野を広げるために、研究とは全く関係のない本を読んだり、語学の勉強をしたりしています。気分転換になるだけでなく、思いがけず仕事で役に立つことがよくあります。やりたいことや、やらなければならないことの優先順位づけと、かかる時間の見積もりが難しいですが、毎日充実しています。

進路決定のきっかけ

母が看護師である影響もあり、医療系に進みたいと思っていました。そんな時、テレビで義手の研究が紹介されていたのを見て、なぜか強く惹かれたのです。それが医用工学を志したきっかけです。機械に興味があったわけではなく、高校の時にはむしろ文系科目の方が得意でした。大学卒業後は、企業、病院、海外などを転々しましたが、特に目指すべきものがあつたわけではなく、その時々で状況で決めました。自分を取り巻く状況も変わりますが、考え方もどんどん変わってきますので、このような進路決定の仕方でも悪くないと思っています。

進路選択についてのメッセージ

いつも胸にあるものは「人生に無駄な事はない」という恩師の言葉。皆が思い描く理想の進路を歩めるのであれば、それに越したことはないのですが、不本意な結果になったり、回り道をしてしまうことをあるかと思っています。そんな時でも、これは縁だと思って、与えられたことを誠実に一生懸命にやれば、たくさんのお話を学べます。「関係ないのに」と思いながらした勉強や仕事にどれだけ助けられたことか! 先のことを考えるのはもちろん大切ですが、思い描く像にあまり囚われすぎずに、楽しんで柔軟に対応するといいかと思います。

海外留学・勤務を通じて得たこと・得したこと

イタリアで博士研究員として3年間勤務したのですが、この経験は、私の人生における価値観をすっかり変えてしまいました。今を楽しく生きるということに関しては、イタリア人は世界一ではないでしょうか。仕事は人生の一部でしかないということや、いい意味で「テキトウ」であることの大切さを学んだので、肩の力がずっと抜けました。人生をより楽しめるようになったと思います。研究では、世界の一部として日本を見ることができるようになりました。世界的な研究のトレンドに対する意識が高まり、視野が広がったと思います。

海外の女性研究者の活躍と位置づけについて感じたこと

イタリア滞在中はヨーロッパの国際共同研究プロジェクトに携わり、様々な国の人達と一緒に働きました。機械系に女性が少ないのは他の国でも同じですが、比率が違います。例えば、工作機械の研究グループなのに女性の方が多く、ということもありました。特に女性のみを支援しているわけではなく、良くも悪くも性別を意識しすぎないという環境が結果的に女性の比率を上げているようです。男性の同僚の時短勤務、産休取得や育休取得を友人の幸せを共有するかのよう自然に受け入れる様子には感動しました。

海外留学・勤務を決めたきっかけについて

博士課程在学中に21世紀COEプログラムの一環として、イタリアの研究所(ロボット系では欧州で最大規模の研究所)に1か月間滞在しました。この時の研究を高く評価してもらったことがきっかけで、卒業後に博士研究員として雇っていただきました。もともと海外留学は夢でした。企業でも海外に行くチャンスはあると思いますが、当然ながら、仕事を覚えてからの派遣になりますので、20代の女性はいろいろ考えることがあるかと思っています。私は企業を辞めて入学した博士課程で海外派遣の支援を受けることができ、夢が叶いました。

滞在先の思い出・生活者としての体験

最初は水を買うのも一苦労でカルチャーショックの連続でしたが、徐々に慣れ、ヨーロッパのいろいろな都市を訪問しました。教会や美術館に何時間も滞在し、大好きな名画の前に気が済むまでぼーっと座っている、というなんとも贅沢な体験もしました。大学ではガイジンのコミュニティがあり、各国料理を持ち寄ってバーベキューをしたり、一緒に海軍施設を見学したりしました。今では皆それぞれの国に帰ってしまいましたが、メールやチャットがあるので、離れ離れになったという感覚がありません。長期休みを利用して会いに行くのが今の楽しみです。



<原田香奈子(はらだかなこ)プロフィール>

山口県立徳山高等学校→東京大学工学部精密機械工学科→東京大学工学系研究科精密機械工学専攻→株式会社日立製作所→早稲田大学大学院理工学研究科生命理工学専攻(同時期に国立成育医療センターにて勤務)<博士(工学)>→イタリア聖アンナ大学院大学→現職



イタリア海軍訓練施設の見学